

【令和8年度 京都市立下鴨中学校 学校経営構想】

1 学校教育目標

「自ら考え、自ら律し、共に行動できる生徒の育成」

2 目指す生徒像・教職員像・学校像

〔目指す生徒像〕

- ・知識を正しく習得し、多角的に物事を考え、自分の意見を発信できる生徒
- ・正しく判断し行動できる生徒
- ・自他を大切にし、共に成長し、夢に向かって邁進できる生徒

〔目指す教職員像〕

- ・生徒理解に努め、生徒に寄り添い、信頼される教職員
- ・チームとして協働し、互いに学びあい、向上心あふれる教職員
- ・生徒があこがれる大人像となる教職員

〔目指す学校像〕

- ・生徒が「通いたい」、保護者が「通わせたい」と思う、学びのある学校
- ・生徒・保護者の願いが実現できる学校
- ・生徒・保護者・地域に信頼され、愛される学校

3 学校経営方針

「教育目標」「目指す生徒像」「目指す教職員像」「目指す学校像」を達成するために

- ・教職員の意識改革を図り、働き方改革を踏まえた組織的な学校運営を行う。
- ・生徒が夢や目標に向かって、自ら切り拓く能力をひきだす学校づくりを行う。
- ・授業改善に取り組み、そのための研究を行う。
- ・生徒の実態や意識・保護者の願いを把握し、学校評価の結果を基に学校運営の検証と改善を行う。
- ・義務教育9年間の一貫した豊かな学びと育ちを支える指導の充実を図るため、小中連携主任を核として校区内3小学校と連携を行う。
- ・学校運営協議会を核として、外部人材を活用し、開かれた学校づくりを行う。

4 本年度の重点目標

- ① 働き方改革をさらに推進することで、充実した教育活動の実現を目指す。
- ② 研修を深め、生徒の実態に即した授業改善に取り組む。
- ③ お互いが尊重し合う学校となるように、教職員が率先して人権意識を高める。
- ④ ウエルビーイングな社会を実現するための探究的な学習を進める。
- ⑤ 不登校生徒や困りを抱えた生徒に対する理解を深め、個に応じた支援を行う。